学校休業中のICTを活用した対応等について

Ⅰ 臨時休業中のICTを活用した取組		
保護者・生徒向け説明会	オンライン学習支援	生徒の心のケア等
7/19(日)19時からオンラインで開催	最大28回線によるオンラインでの学習支援	学級担任等がオンラインでSHR等を実施
〇 報道が先行し情報が錯そうする中、生徒及び保護	〇 7/22 (水) から	O オンライン画面上で、生徒の顔を直接見ながら声
者の不安や不満に寄り添うという目的で開催	・ 当初の割り当て回線数(4回線)でスタート	かけ
〇 ほとんどの生徒及び保護者が視聴	各学年1回線を使用(必要に応じて残り1回線利用)	〇 毎朝の体調確認や悩みごとなどの聞取り
※ 自己都合等で視聴できなかった2名について	・ 特別時間割を編成し配信	〇 当初は、短時間のSHRの予定で開始したが、生
は、別途、電話で内容を伝達	〇 7/27 (月) から	徒間、教員と生徒との活発なやり取りが続き、結果
〇 説明内容	全28クラス各1回線の計28回線に増強	としてLHRとなることも多数
・ 謝罪及び経緯、今後の予定について	→ オンライン用の特別時間割を編成し、各学年の	〇 3年生は、オンラインで進路に関する三者懇談会
・ ICTを活用した学習保障、誹謗中傷への対応 等	授業展開数、商業科等の選択科目にも対応	を実施
〇 保護者の反応	〇 生徒・教員の状況等	〇 生徒からの声
正しい情報が分かりありがたかった	・ どの授業もほとんどの生徒が受講	クラスメートの顔を久しぶりに見られて安心した
・ 学校の苦労が良くわかった	・ 教員も授業展開や教材をオンライン用に工夫し、	・ オンラインであっても、先生や友達と様々な話
頑張ってくださいとの激励 等	結果として、ICT活用力が向上 等	ができてよかった 等

学校再開後の状況

▶ 学校において、学校におけるクラスター発生の経緯や学校の対応について検証、**県の「学校再開ガイドライン」に基づき、学校として、以下の** 【基本方針】を定め、学校、生徒及び保護者の共通認識のもと活動を再開

【基本方針】

- 1. 感染予防対策の徹底 ☞ 「健康チェックカード(改訂版)」の徹底、教職員居室の配置換え、授業の工夫
- 2. 学びの保障
- ☞ 授業時数の確保、オンライン学習支援の充実、資格試験に向けた帰宅後のオンライン指導
- 3. 風評被害への対応 ☞ 罹患者の動揺に寄り添う(コロナ・ハラスメント、誹謗中傷、後遺症等)
- 生徒の心のケア対策として、毎月実施する<u>「心のアンケート」により、生徒の学校生活全般、進路、部活動、対人関係などに対する生徒の不安</u> の声を聞き日常的な指導に資するとともに、コロナ・ハラスメント等をテーマとしたオンライン講演会やLHRを実施
 - 〇 「心のアンケート」について(11/1現在計5回実施:6/5、7/20、8/18、9/16、10/21)
 - ・ クラスター発生直後は、「世間から県岐阜商の生徒の行動が注目されてストレスに感じる」「これまでの私たちの努力が報われない」といった声が多数
 - その後、回答数も減少、「元の生活に戻った」「ウィズコロナの中、充実した学校生活を送っている」など、多様な意見
 - コロナ・ハラスメント等を対象としたオンライン講演会やLHR(ロングホームルーム)

【7月末】 外部講師による全校生徒対象のオンライン講演会「あなたは自分を守れますか~コロナの向こうに~」を開催

→ 誹謗中傷に対する心の持ち方等について考えた

【11月中旬】全クラスでLHR「新型コロナウイルス感染症に伴う人権について」を実施

→ コロナ・ハラスメントやSNS等による誹謗中傷について各クラスで議論した